

SHARP

シャープ社友会

栃 木 支 部

2003/1

新 春 号 (第 1 1 号)

日
光

栃 木

発行責任者
浦 川 正 司

タ イ ト ル

紺碧の空に、燦々と輝く
日の光、緑豊かな大地。自
然に恵まれた栃木をシンボ
ルします。と、同時に当地
を代表する観光名所『日光』
を願します。

カ ラ ー コ ン セ プ ト

日光の赤(R)、栃木の緑(G)、
バックの青(B)は、カラーテレ
ビの、R・G・Bをイメージし、
AVシステム事業本部のルーツを
象徴します。
同時に、グリーンは社友会のシン
ボルカラーでもあります。

写真撮影

只友 将弘氏

(会員番号2026)

日光東照宮
一の鳥居と五重塔

ライトアップ撮影





二〇〇二年サマー
フェスティバル開催



(中村義雄 記)

七月二十七日(土) シャープサマーフェスティバルに今年も例年通りチャリティーバザーを出店参画いたしました。(今年で八回目) 社友会員皆さんからの暖かいご提供品も今年は昨年以上に多く二百十五点もありました。夕方四時からの開催も待ちきれずの大盛況のうちに、早々と全商品完売し売上金も過去最高を記録しました。愛の募金も来場者、特にご来賓方々のご協力を仰ぎ、多額の募金となり例年通り矢板市福祉協会へ寄付させて頂きました。

御協力誠に有り難うございました。

秋の懇親旅行

十月十八日(金)に鎌倉の宝国寺(竹寺)鶴岡八幡宮、鎌倉大仏へバスの日帰り旅行を実施した。

(田中 勇 記)

鎌倉大仏

(国宝 阿弥陀如来像) 浄土宗のお寺前にて記念写真。



栃木支部 定期総会

平成十四年度 栃木支部定期総会が、五月二十六日（日曜日）に大田原市ふれあいの丘シャトーエスポワール（矢板市のAVシステムより十七キロメートル）で六十三名が参加して開催された。

会社より山口統括、高井参事、喜多村副参事並びに組合より中村副執行委員長、田中書記長のご出席を賜り、山口統括より会社の現況説明を受けました。

組合より現況並びに次期矢板市議選に關して、中村ひさのぶ氏の取り組みと支援依頼等がありました。

浦川支部長より栃木支部は現在百七十六名（五月現在）の会員で最高齢者が八十四才で、七十才以上の方が二十九割を占める様になり、元気に過ごされている方が多く喜ばしい限りであります。今後益々会員と共に有意義で活発な人生をお互いに歩んで年輪を重ねてゆきたい。主旨の挨拶があり、

平成十三年度の経過報告並びに決算報告、平成十四年度活動計画等、議案書通り満場一致で承認されました。記念撮影後懇親会に移り「よう元気かい！」の言葉が飛び交い、久し振りに会えた友達とお互いの健康を喜び合い、時間の経つのも忘れ懇親を深め元気で再会出来るのを楽しみに散会した。

（田中 勇 記）



平成14年5月26日 第14回総会参加名簿（敬称略）

変革の新春を迎えて

栃木支部長

浦川 正

希望にあふれる初春を迎え、心新たに思索を巡らしております。

会員各位の皆様も昨年を振り返られて、それぞれに様々な思い出を楽しく懐古して居られます事と拝察致します

昨年は十二年目の午年で、天空高く神馬駆けめぐる縁起の良い年であると云われましたが、大変色々なことが神馬以上に駆けめぐる年でした。それぞれの出来事は各位のご見識で判断願う事と致します。

さて当支部も今年は発足十五年の節目を迎えます。過去の経緯を反省し今後に対応いたしたく思考しております。会報も創刊以降、会員各位のご尽力によりお陰を持ちまして順調に軌道に乗り、円滑に各号の発行が出来て参りました。各クラブの活動も



シャープ熊鷹神社前

クラブ長並びにクラブ会員各位のお力により活性化と前進をして参つて居りますが、まだ一部の会員活動で、栃木支部全員が何か生き甲斐を感じる魅力的行事の開催やクラブ活動をと、更なる願望をしています。

現在は変革の時代で新入会員も多数入会され、更に五月の総会では役員改選期でもあり会員各位が一層の支部発展のために、若い英知と実行力に溢れた人材による組織作りにより当支部を一步一步と前進させて会員相互の繁栄が築かれる事を願う者であります。

今年、齢七十二を迎え私はつくづく考えます。昔の七十歳といえは大変な老人の響きを持ち、無為にその日その日を送るのみの人々の生活を見てきました。しかし現在のその年齢に自分が達してみると、当時考えていた事とは全く異なり変化に富んだ多忙な日々が待ちかまえており、挑戦を繰り返す日常であります。

その様な毎日をより良く充実したものにする為には、考え方を少し変えて歳よりは少し若いと自負し、努めて原色系を身に着け若さを保つようにしています。

外観は若く見えますが内面はやはり年寄り。それを凌駕する為に、以前何かの本で読みました「カ・キ・ク・ケ・コ・の精神」の実行に勤めています。

力ハ……感動する心
キハ……緊張感を大切に
クハ……くつろぐ
ケハ……決断力
コハ……好奇心をもって年齢に合った「歳の老い方」

この様に書かれた文言を座右の銘にしています。

年頭に当たり、新年も支部会員各位の絶大なご協力を懇願しますと共に、設立十五年の節目に相応しい栃木支部の発展をご祈念申し上げ新春のご挨拶と致します。

老幹といえぞ

白梅凜と咲く

明 峰

(沢井 明)



二〇〇三年を迎えて

専務取締役
A V システム事業本部長

濱野 稔 重

新年明けましておめでとうございます。
社友会栃木支部の皆様方には、希望に満ち溢れた新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃は、シャープ製品のご愛用や当社社員に対するご指導・ご鞭撻等、大変お世話になり厚くお礼申し上げます。

昨年は、国内にあつては長引く景気の低迷や政情不安から、株価の下落や個人消費が落ち込むなど一層の不況感が強まる中、後を絶たない企業倒産や雇用状況の悪化が連日報道される等、経営環境としては憂慮すべき年であつたと言えます。

一方、世界的にも米国の株価下落は個人消費を直撃し景気の低迷を招いており、このことが日本をはじめ欧州・アジアの経済にも大きな影響を及ぼしていますし、唯一、好調と思われていた中国経済もデフレ状況に陥る等、まさに世界同時不況の様相を呈し、しかもこの状況は暫く続くと見られています。

又、気になる動向としては、日本のエレクトロニクス産業は国際競争力を無くした不況産業と見られ始めている事が挙げられます。世界の投資家は投資先を成長著しい韓国・台湾株に移し始めてい



るといわれていますが、シャープを含む日本の主要エレクトロニクスメーカー九社の最近十年間の累積利益率は僅かに

0.1%という状況であり、特に最近五年間では▲0.5%と不況産業といわれても仕方がない状況にあります。

このような経済環境の中、シャープは昨年、世界最強デバイスの液晶をはじめとするオンリーワン・システムデバイスを核とした独自特徴商品の創出に取り組み、液晶テレビ「アクオス」をはじめ携帯電話とドキュメント事業の業績伸長で九月末の中間決算は増収・増益を達成する事ができました。

しかし、経済状況は二〇〇二年度下期から二〇〇三年度にかけて国内・海外共に大変厳しい状況が続くことに加えて、伸長著しい韓国・台湾・中国のメーカーとの激しい競争が待ち受けており、全く予断を許さない経営環境であることを認識しなければなりません。

特に A V システム事業本部については、戦略商品である「液晶テレビアクオス」のビックバン第二ステージの展開として、世界規模でのシェア拡大と海外生産の拡大を図ることを基本に、年間一〇〇万台の生産を見込んでいますが、一方では韓国メーカーをはじめ国内外のメーカーが相次いで液晶テレビに参入していることから、厳しい競争に打ち勝つて圧倒的な優位性とシェアを確保しなければ百万台生産は実現できません。

そのためには「拡大志向に徹する」「徹底したコスト追求」「トップブランド構築に向けた正々堂々の経営」を全員一丸となって取り組み組んで参ります。

さらに今年は、三重県亀山市に総工費一千

億円投じて大型液晶テレビの一貫生産工場が完成します。この新工場は二〇〇四年春の稼動を予定していますが、早ければ今年の年末に生産開始となるよう前倒しの取り組みを進めています。

亀山工場がスタートしますと二十五インチ未満の中・小型の液晶テレビは矢板工場、二十五インチ以上の大型液晶テレビは亀山工場生産という棲み分けが進みます。そして大幅に強化された競争力を持った液晶テレビアクオスは圧倒的シェアを確保し、二〇〇五年度には両工場で三百万台（世界シェア50%）以上の生産が実現する計画となっています。

液晶テレビ「アクオス」のビックバン第二ステージ展開と、1ビットデジタルオーディオ「アウビー」「アクオスシアター」を中心とするアウビービックバンの推進、更にはカテゴリーシフトによるブランドイメージの向上を図る等、二十一世紀商品事業の更なる拡充と強化に向け、全従業員が一丸となり、先輩諸兄の築き育ててこられた A V システム事業本部を、新世紀に相応しい事業体に革新して参る所存でございます。

社友会の皆様方におかれましては、従前にも増して液晶テレビアクオスに対するご愛顧とご支援ご指導をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたがシャープ社友会栃木支部の今後益々のご発展と、会員皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ新年のごあいさつとさせていただきます。

新しい『まちづくり』に頑張ります

シャープ労組栃木支部 副執行委員長

上げます。

新年明けましておめでとうございます。
新しい年を迎え社友会の皆様には、更に個性を活かし充実した毎日を送られているものとお察致します。

また、日頃より労働組合の活動に對しまして、深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度矢板市議会議員の改選にあたり、現在社友会栃木支部の副支部長でもあります岩村議員の後継として私『中村ひさのぶ』が立候補する事になりました。

大先輩の後を受けるという事で大変大きな不安とプレッシャーを感じていますが、皆様が営々と築かれてこられましたシャープの名に恥じないよう矢板のまちづくりをしていきたいと思っています。

また、皆様方の声を行政に反映すべく頑張つてまいりたいと思っていますので、絶大なるご支援を賜ります様お願い申し

今、矢板市を見てみると、子供達が大きな夢を描く事が出来る環境作りや、将来に渡つてふるさと矢板に住み続ける事が出来るまちづくりが重要だと思っています。

地域にあつては、子供からお年寄りまで一体となつて心の触れ合う交流ができ、伝統や一芸を継承できる環境作りを進めたいと思っています。

また、これからの情報化社会に欠かさないパソコンを利用した教育環境も整備していかなければなりません。パソコン教育においては、画一的な教育も必要ですが、自由な発想で使う環境も必要だと思っています。

最近の経済状況や財政状況を見れば大きな事業が一朝一夕に実現できるとは思いません。しかし、夢を描きビジョンを持つてその実現に歩みださなければ何も出来ません。そうしなければ五年経つても十年二十年経つても何も変わらない事になってしまう。

皆様方から情報とアイデアを戴きながら、皆様方と一緒に「安心して暮らせ、夢があり笑顔があふれ、魅力のある矢板のまちづくり」を目指していきたいと思っています。

全く無名の新人と言う事や、社会環境、会社を取り巻く環境を考えれば今回の選挙は大変厳しいものになると思つていま

中村 ひさのぶ



右写真、国会議事堂見学时 社友会役員との記念撮影

す。私と致しまして、シャープの名を汚す事の無いように精一杯頑張つてまいります。

重ねて皆様方の絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。



六十の手習い

藤井 恭平

・昨今、私は、パソコンが一日も手放せないほど、身近なものになりました。

・思い返せば四〇五年前までは、ワープロ、パソコンなどの情報機器を、自分が操作する事は、生涯出来無いただろうと確信し、自分には無縁のものと思っていました。

・所が、定年時に、有志の方々からご好意で、記念品にパソコンを頂いたのが契機となり、のめり込む羽目になりました。

・自分の趣味には、合わないと思込んでいたパソコンですが、時々、パソコン先輩の指導を受けながら、今ではインターネット、メール、エクセルも一通りこなせる様になりました。

・パソコンについては、社友会にもベテランが居られますので、パソコンの話はお任せするとして、パソコンの『文字変換』のキーを使う度に、「漢字」は読めても書けない「漢字」が、多い事に気が付きました。

・パソコンの『変換キー』をたたくと、たちどころに漢字が出て来ます。

中には『…漢字ではこう書くのか…』と感心する事が有ります。

・日本語には同音異字の言葉が沢山あります。漢字はカタカナやひらがなと違って『パターン認識』で、見ただけ、意味が理解できる便利な文字ですが、日常、度々口にする言葉も、いざ書こうとすると、直ぐには書けない事がよくあります。

・話は変わりますが、先日、たまたま立ち寄った

本屋で、文部科学省の「日本漢字能力検定」と言うのが、有る事を知りました。小学生レベルの十級からプロの一級までのランクで、年に三回、検定試験が行われている様です。

・問題集を立ち読みしてみると、「読み」「書取り」「四字熟語」「送りがな」「対義語・類義語」など多岐にわたって居り、今まで当たり前の様に書いていた漢字が、如何にデタラメな漢字であったか、又、如何に漢字を知らないかを痛感しました。

・一つ二つ例をあげると、知っている人からみると当たり前の事ですが、『今』と言う字の八と、『分』の八は同じ様に書いていましたが、『今』は上部がくっついており、『分』は離れている事を、改めて知りました。『雪』のヨは横棒が突き抜けないのが正しくて、『書』の上のヨの横棒は、突き抜けるのが正しい事を知りました。

・今の所、時には字引を引く事もありますが、新聞・雑誌は毎日、不自由無く読んでいます。

・字を書く時は、難しい漢字は、ひらがなやカタカナで済まして、「漢字」で普段はそんなに不自由した記憶は無いのですが、今まで、正しくない漢字と送りがなで済ませていた事に、少なからずショックを受けています。

・今のままでも、殊更、不便はないのですが、この機会に少しでも正しい「漢字」を憶えてみようと思う様になりました。

・しかし、本来のずぼらさが災いして、何かイベントを設定しないと根気が続きません。

それで「日本漢字能力検定」に、挑戦する事にしました。

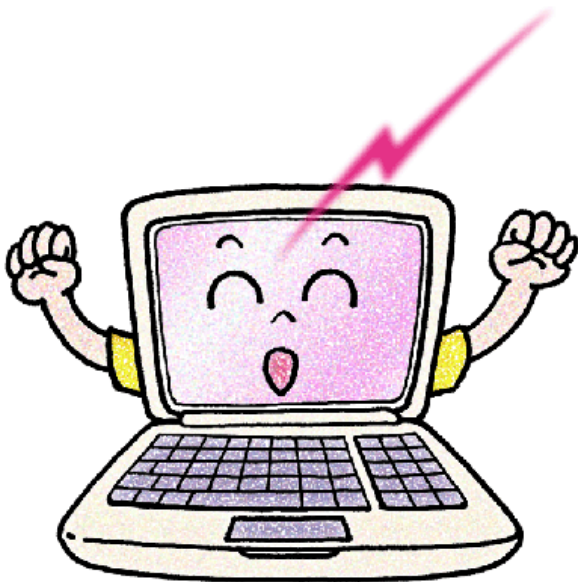
・初回は中の上のクラス三級に挑戦することになりました。現在、特訓中です。

・今年のお盆で、子供達が帰省した時に「〇〇を漢字で書くかどうか知ってるか？」

「この四字熟語を漢字で書けるか？」それは、こう書くんや…」と自慢出来ました。

・この拙文が印刷される頃には、「検定」の結果が出ているはずですが、ダメ元で、これを機会に、少しでも正しい「漢字と送りがな」が身に付けば『儲けもの』と思っています。

・以上が私の『六十の手習い』です。



これからやること

初鹿 謙治

『何でも直ぐに手を出す、物になったものは無い』

囲碁、将棋、登山、水泳、ゴルフなど等、何れも中か下の上程度で止まっている。ゴルフに至っては生来の運動神経の鈍さも有って何年やっても未だに初心者の域を脱しない。定年前、色々な人から、「時間が有る、今までやって来た趣味に充分時間がかけられる、体と頭と両方に趣味を持つ事」と言われたが、いざ、始まってみると、体力作りはともかく、頭作りの面で本気にやろうと思うものが無い。

結局、当面、長い間細々買い込んで眠ったままになっている古典を読破し、無駄遣いした金を取り戻すことにした。

この古典の中で最初に取り付いたのは史記で、これは、二十年程前、司馬遼太郎の「項羽と劉邦」を読んで感激し、小説で無く歴史書として読んで見たいと思い、あちこち探して、この「史記」を見つけこの魅力に取り付かれた。大阪単身赴任の時も、この史記関連の本や資料を持って行って、休みの日(単身赴任の休日は本当に暇)には、これで何とか時間を潰した。

二千年以上も前に書かれた古臭い歴史書の何が良いのかと言われても、一言で言えるものでないが、これは古代中国の歴史の舞台を借りた人間探求の書であり、オーバーな表現をすれば、熾烈な権力闘争の中での勝つ者・負ける者の性・汗・血が、小説以上にドラマチックに感じられる。

史記は、三皇五帝の神話の時代から夏・殷・周そして春秋・戦国時代を経て秦及び漢の武帝に至るまでの約二千四百〇二千五百年間の長い歴史の記録である。

殷以前は、実在しないと考えられて来たが殷墟が発掘され、甲骨に殷王朝歴代の王の名前が有り、これが史記にある殷の王の系譜と一致し、史記の記録の確かさが証明された。この長い歴史の中に、様々な人物が登場し個性豊に動き回る。

更に、もう一つ、史記に惹かれるのは、この著者である司馬遷という人物である。彼は、周より代々王室関係の記録をつかさどる史官の家系の出であったが、漢の武帝時



代、匈奴討伐戦の時、ごく少数の兵力で状況不利な中で善戦しながらも、力尽きて匈奴に投降した指揮官・李陵を弁護した事により官刑に処せられ、男性の機能を失うに至った。許されて、史記の編纂を再開したのが、既に五十歳。官刑は人間が生きながら受ける最大の恥辱と言われ、この中で年老いた男がこれだけの大著をなした事に感銘を受ける。

この時代、司馬遷が史記を書いた当時は、紙は無く、木簡・竹簡に小刀で文字を彫り付けて行くもので、一文字書くのにも今の何倍、何十倍もの時間が掛かっただろう。

史記の文章は短く極めて簡潔であり、それだけに一文字一文字の意味を考え、そして前後の関係を注意して読んでいく必要がある。史記は人間探求の書と書いたが、「項羽と劉邦」を例を引いて、自分なりに解説してみよう。

この両名は、広大な中原を中心に全土を巻き込み覇権を争うのだが、この中で司馬遷は随所に両名の人間性を対照させながら、歴史書でありながら壮大なドラマに仕上げ、更に、仕上げとして、劉邦が覇権を制した理由を、劉邦自らに語らせる。

この司馬遷の手口には、二千年前のものと思えない新鮮さを感じる。

何故、名も無い田舎出身の劉邦が、秦に滅ぼされた楚の歴代名將軍の家系から出た、智・力共に優る項羽に勝ったのか、又、闘いでは何時も逃げ回っている劉邦が、何故、垓下の闘いで最後の勝利を手にしたのか。

高祖(劉邦)が天下を統一した後、洛陽の南宮で酒宴を開いたとき、この宴の席で、劉邦は群臣に向かって、何故、自分が天下を取り、項羽が天下を失ったか問うた。

「陛下慢而侮人 項羽仁而愛人 然陛下使人攻城略地 所降下者 因以予之 與天下同利 項羽妒賢嫉能 有功者害之 賢者疑之 戰勝而不予人功 得地而不予人利 此所以失

天下也」・これが臣下達の意見であった。

これに対して、劉邦は、皆は一を知って二を知らないと言い、「夫運籌策帷帳之中 決勝於千里之外 吾不如子房 鎮國家 撫百姓 給餽饒(食料) 不絶糧道 吾不如蕭何 連百萬之軍 戰必勝 功必取 吾不如韓信 此三者 皆人桀也 吾能用之 此吾所以取天下也 項羽有一范增(項羽の最高の側近) 而不能用 此其所以為我禽也」・これが劉邦の勝因として自らが述べたくだりである。

現在の組織の長にとっても、示唆的なものを含んでいると思う。

芭蕉の句碑と海外旅行

上野 敦

會良隨行日記

奥の細道の「會良隨行日記」の四月三日頃、鷹内、ヤイタ、沢村の地名が見える。鷹内は矢板市高内宿今の幸岡である。沢村とは矢板市に編入され、現在の矢板市沢である。

矢板の芭蕉句碑

矢板市には芭蕉の句碑が三つあります。三つとも奥の細道の道中句ではなく「続虚栗」「笈日記」「続猿蓑」から取られたものである。建立年代の順に記すと

一つ目は矢板市扇町

矢板中央高校の南、駅前に出る道路の東側、稲荷神社の境内にある。矢板中央高校の創始者のご先祖の人が江戸に出て、俳諧修行をし俳諧師になった記念に建てたもの。寛政三年（一七九一年）十月建立

「原中や物にも津かず啼く雲雀」

もとの句は「続虚栗」の

「原中や物にもつかず鳴雲雀 芭蕉」

二つ目は 矢板市長井

剣神社のすぐ南の道を西に一〇〇メートル程のところの庚申塚の上に立つ。建立者は塩谷秀賢。文政三年（一八二〇）建立。句は市の説明板には

「そのまゝに 月もたのまじ伊吹山」

とある。

碑面は風化が進み不鮮明。

「笈日記」には

「其のまゝに月もたのまじいぶき山」

とあり、

「後の旅」には、

「そのまゝに月もたのまじ息吹やま」

とある

この句は芭蕉の知人の庭から伊吹山（近江と美濃の境）を詠んだものだ。

伊吹山は下野にもあり藤原実方の

かくとだにえやは伊吹の・・・の

伊吹は下野。

芭蕉が伊吹にしていけないのは意味ありげ。

三つ目は 矢板市成田の八幡宮

天保五年（一八三四年）建立。

句「宇久ひ寿や柳のうし露藪の前」

この句は

「鶯や柳のうしろ藪のまへ 芭蕉」

が「続猿蓑」にある。

その他に 會良の句碑が沢の観音寺に

ひとつある。

奥の細道では

かさねとは八重撫子の名成べし

會良

とあるが、會良の句ではなく芭蕉の句と 考えられている。

會良の「俳諧書留」になく「奥の細道」にのみ採られている句だからだ。

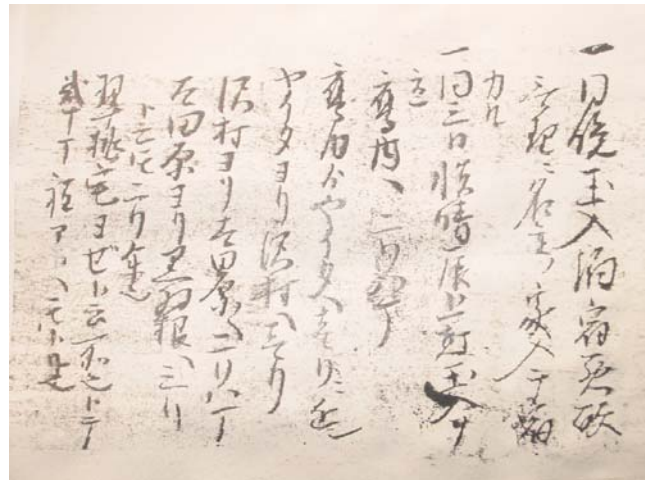
一つ目の芭蕉句碑（稲荷神社境内）



玉生から黒羽の部分 (右随行日記の翻訳)

曾良の随行日記

一、同晩 玉入泊。宿悪故
無理二名主ノ家入テ宿カル。
一、同三日 快晴 辰上尅、
玉入ヲ立
鷹内へニリ八丁。鷹内へヤイ
タへ 壱リニ近シ。ヤイタヨリ
沢村へ壱リ 沢村ヨリ大田原
へニリ八丁。
大田原ヨリ黒羽根へ三リと云
モニリ余也。翠桃宅、ヨセト
云所也トテ、式十丁程アトへ
モドル也。



芭蕉の海外旅行と受容美学

映画のモンタージュという技法は独立した映像の断片をつなぎあわせて、それに美と意味を統一させ一編に仕上げる芸術的手段を云います。映画監督のエイゼンシュテインが俳諧発句の「取合せ」にヒントを得たものといわれています。

絵画の世界で西欧の前期印象派の絵が日本の浮世絵から影響を受けたことは美術史の常識と言えましようが、文学の世界でも西洋に多大の影響を与えていたことになる。

芭蕉によつて確立された「取合せ」の技法は英米文学ではパウンドの重置法となり、フリントを通じて西洋の詩歌にもち込まれ、イマジズムが興起され、それが我が国に戻つて日本の現代史を興起し、それが前衛俳句に影響を与えたのである。

芭蕉の技法の世界一周旅行である。

なお、明治の俳句に映画のモンタージュから逆輸入され、「配合」と呼ばれているものがあるがこれは芭蕉の「取合せ」なのである。

芭蕉の句は描写しないことによつて描写する以上の表現をすると云われている。禅の「不言の言」に通じる。

読者「享受者」が自然に自分で補充するべく導びかれるのだ。

西洋では一九六〇年頃から解釈や批評は享受者側からの参加なしには成立しないとする立場の「受容美学」が提唱さ

れている。

これは連歌、俳諧の「とりなし」のこと、付句の手柄で前句がいき、切れながらどこかで結び付き、続きながら切れる連断的表現はこのとりなしから生まれる和歌、連歌、俳諧の美学であつたはずである。

芭蕉は門下に対し「発句（俳句）は君たちにもわたくし以上のものがある。しかし、連句にかけてはそうはいかないよ」と自信を持っていたという。

そういうことで俳句は国際的に注目されているのだ。

黒羽芭蕉公園にある 芭蕉の句碑の一つ



秋の懇親旅行 鎌倉への旅 田中 勇

秋の日にバスで鎌倉へ日帰りの旅に出掛けた。

A Vシステム事業部本部体育館を朝6時に出発。十月中旬はまだ空がしらみかけた頃である。矢板ICから東北自動車道を東京に向かって走る。霧雨が降っており今日の天気は大丈夫かなと思いつつ車窓を見る。少し紅葉が始まった頃で未だこの辺の木々は緑が多い。日光の中禅寺湖、那須のケーブルカー付近等は今は紅葉の真つ盛り。この辺は平地なので後2、3週間は掛かりそう。

佐野藤岡SAで休憩を取り首都高速道路に入る。いつもの通り渋滞走行、都心の景色を眺めながら進む。車内は久し振りで会ったと話が弾み、アルコールが入りカラオケが始まり皆んな元気で賑やか。霧雨もやみ日差しはないものの雨の心配は無い天気になった。横浜横須賀道路に入り本来の高速道路のスピードで走行し、朝比奈ICで出た。そこは鎌倉。バスを降り細い坂道を200m程歩いて行く。と報国寺(竹寺)に着く。この寺は足利・上杉両氏の菩提寺として栄えた臨済宗寺院で、寺の裏に回ると直径15cmもする孟宗竹林茂りこの黄緑の林の中を散策するようになってくる。

俗名竹寺の名はここから来ている。紅葉がほんの少し始まった鎌倉の景色、道路が狭く坂の多い道をリュックサックを背負って散策するハイカー・修学旅行の生徒が多い。独特の鎌倉市街をバスで20分程行くと、鶴ヶ丘八幡宮の前の峰本で和食の昼食を取る。

鶴ヶ丘八幡宮は鎌倉幕府の中心で、三方を高い山に囲まれ一辺が海(太平洋)に開けている。海側から 一の鳥居・二の鳥居・三の鳥居と、段かづら・櫻並木があり三の鳥居で鶴ヶ丘八幡宮本殿になる。

バスに乗り20分程で鎌倉大仏殿(公德院)に着く。この大仏像は七百余年前の造立で阿弥陀仏である。最初は木造で寛元元年(1243)に完成したが、台風で破壊されたので今度は青銅で建長4年(1252)に着工し数年で完成した。鑄工として大野五郎右衛門の名が寺伝にあり、丹治久友の名が他の記録に知られるのみで元型作者は不明である。総高23.35m 重量121トン奈良の大仏よりほんの少し小振り。

竹寺の散策



私(山梨県生)の小学校の修学旅行は、ここ江ノ島鎌倉の一泊二日で当時は終戦直後だったので米を持参の旅行であつたのを思い出した。現在栃木県の小学生の修学旅行はここ江ノ島鎌倉が多い。

帰りの首都高速道路は比較的順調に走り午後7時20分無事到着。また元気で再会出来る事を願いつつ家路に付いた。



竹寺の説明をうける

パソコンに挑戦して！

第二弾インターネット・メール接続奮闘記

中村 義雄

益々パソコンが面白い、限らない夢を追って：メビウスクラブに入会して二年目の現在、自分なりに幾らかマスター出来たと評価する今日この頃です。

次はいよいよインターネット・メールの接続設定に挑戦する時が来た、本当に遠い夢だった事が実現出来るなんて想像もしなかった。パソコンに慣れてやるべきものが目の前にやってくるのだ。

今年七月初旬頃パソコン購入時に数多くのパンフレットや各種資料を参考に各社数ある中からプロバイダの選択結果、NECのBIGLOBEに決め、早速申込書を郵送する、二週間後会員登録が届くメールパスワード・メールアドレス等々自分の表札が記載されており、直ちに接続設定作業に取りかかる。先づは電話回線の接続である、NTTに依頼すると数万円の費用との事びつくり仰天、自分でやろうと：電話延長ケーブル線二本を購入し説明書通り配線接続を完了する。続いてBIGLOBEのCD-ROMソフトを元にインターネット接続設定入力を開始、ところがなかなか上手くいかず約一ヶ月間放置状態が続いた。何回入力しても同じ事の繰り返しで参る。

八月下旬頃、BIGLOBEより「接続設定でお困りではないですか？」と一通のハガキが郵送されて来た、インターネットの接続が判らない方へと、「接続トラブル解決の為専用窓口にぜひご相談下さい」との事、早速電話をした。有り難いものでこれが本当の助け船だった、左手に受話器右手にマウスパソコン相手に親切丁寧に次から次へと操作方法を、説明通りに入力しつつ進み問題なくインターネットもメールも無事接続設定する事が出来た。その後各種トラブル発生時には電話し問題解決に努めている、すぐその場で解決出来るのが何よりも良かった。

さて、メール送受信の件に移ろう！

送信第一号は東京に居る息子へ先づは開通メッセージの発信、続いて三友会長へ次から次へと計七通送信する。送信するも完全に届いたのは四通だけ、残りの三通はエラー表示が出た、何故だろうか？同じ様に打信しているのにおかしい：直ちに原因搜索するとアドレスの字誤り・パスワードの入力不足ダイヤルアップの不備等が判った 原因追及が出来る様になったのも幾らか進歩した様な気がする。東京の息子から早速返

信メールが届く、祝・開通おめでとう：：

たまたまその日は私の七十二歳の誕生日だった。誕生日おめでとうと重ね重ねの祝電メール嬉しかった。これからは毎日受信トレイ届いてないか？パソコンにスイッチ入れるのが楽しみになって来た。インターネット情報も楽しみだ。でも最近迷惑メールやウイルス感染等の問題があり、常々怪しいメール・業者等には充分気を付け感染防止に気配りが必要である。これから先輩諸氏の元もつともつと勉強して上達して行きたいと思つて居ります。

中村義雄 メールアドレス

yoshi-naka@mtg.biglobe.ne.jp



私の徒然草

三友宏章

つれづれなるままに、
日くらし、硯にむかひて、
心に移りゆくよしなし事を
そこはかとなく書きつくれば、
あやしうこそものぐるほしけれ。

前回と同様に、自分では真実では無いかと日頃考えてはいるが、他の人々からは非常識な出鱈目と一笑に付される事をフィクションとしてそこはかとなく書きつくらせて頂ます。

前号で列記しましたテーマのうち、今回は、☆会社は株主のものであり、株主は会社の負債返済義務を負う。従業員は費用項目にすぎない。☆現在の株式市場はカジノ資本主義の産物であり、先物取引金融商品が、その中心にある。☆企業にとつては、キャッシュが食物であり血液である。そして製品は排泄物である。

と、云ったことを中心にして、今回私見を述べさせていただきます。

私は、何事も原点に立ち返って物事を考えるのが精神安定のためによいので、常に物事の本質を追究しなければ、納得できない傾向にあります。

テレビの製造部に携わっていた頃、『製造部』から『生産部』に部門名が変わりました。どう違うのかと確かめると、外製協力会社を含めて、統括管理することがその部門の使命とゆうことで、コストダウンと操業の変動に対応するため協力会社を活用するのは、合理的な組織と簡単

に納得しました。生産管理の担当のUさんが「三友さんも金勘定をしなければなりませんねえ」とニヤニヤしながら、話しかけてきた。札束数えるくらいどうって云う事無いじゃないか。とその時は思いましたが、その心は「『企業会計』のお勉強がいりまっせ」と言う意味であったことが、後々解るようになりました。会社人間の会社知らずであつた自分を恥じて、その後簿記会計の勉強を始めたが、製造屋としては、全く異分野であつたため、非常におもしろく新鮮に感じました。『会計基準』『財務諸表論』『商業簿記論と工業簿記論』『原価計算論』『商法』『商法計算規則』『有価証券取引法』『有限会社法』『手形法』『小切手法』等々積み上げると、自分の背丈ほどになる図書を読みこなしながら、独学で日商簿記検定一級に挑戦した結果、五年ほどかかって合格できました。専門学校へ通えば、合格するための問題回答のトレーニングを繰り返すことで、もっと簡単に合格は出来ますが、それでは問題の奥にある企業会計の理論の理解は出来ないと思い、関連図書を幅広く学習した次第です。

お陰で、今起こっている諸々の経済問題や、



マスコミの経済関係報道の真偽の判断や、預貯金、株式、公社債、投資信託、その他諸々の金融商品と呼ばれているものの、真実と虚偽を良く見定めることが出来ると思っております。さて、前置きはこれぐらいにして。

企業のお金勘定は、**企業会計基準を基本に**財務諸表論、簿記論に、具体的に展開されてゆきますが、企業会計基準の最初に必ず出てくるのが、**企業会計原則**で、その第一にあるのが**一般原則**というので、第二に**損益計算書原則**、第三に**貸借対照表原則**と続く三部構成の原則で、五ページ程度のシンプルな内容だが、これを展開させて、多様な企業会計システムを作り出しています。

一般原則についてのみに列記してみると、
一、真実性の原則

企業会計は、企業の財政状態及び経営成績に関して、真実な報告を提供するものでなければならぬ。

二、正規の簿記の原則

企業会計は、すべての取引につき、正規の簿記の原則に従って、正確な会計帳簿を作成しなければならぬ。

三、資本取引、損益取引区分の原則

資本取引と損益取引とは明瞭に区分し、特に資本剰余金と利益剰余金とを混同してはならない。

四、明瞭性の原則

企業会計は、財務諸表によって、利害関係者に対し必要な会計事実を明瞭に表示し、企業の状態に対する判断を誤らせないようにしなければならない。

五、継続性の原則

企業会計は、その処理の原則及び手続きを毎期継続して適用し、みだりにこれを変更しては



ならない。

六、保守主義の原則

企業の財政に不利な影響を及ぼす可能性がある場合には、これに備えて適当に健全な会計処理をしなければならぬ。

七、単一性の原則

株主総会提出のため、信用目的のため、租税目的のため等種々の目的のために異なる形式の財務諸表を作成する必要がある場合、それらの内容は、信頼しうる会計記録に基づいて作成されたものであつて、政策の考慮のために事実の真実な表示をゆがめてはならない。

と、定められているが、ここで云う企業とは、

『株』式会社のことである。

『株』とは、何だ!?

今世界の注目を浴びているイラク、その首都バグダードは、アラビアンナイトの世界である。そのお話のひとつにシンドバッドの冒険がある。これは、船で未知の世界を命懸けで冒険航海して、富を集めてくると云う物語で、リムスキー・コルサコフのシェラザードの音楽と共にその幻想的な魅力は、尽きないものがある。現実の世界に戻ると、約四〇〇年前のヨーロッパでは、東洋から珍しい物産を船で運び、高値で売りさばいて、多額の利益を得る交易が盛んになったが、この航海には台風や、海賊の被害があり、リスクの大きい仕事でもあった。そこで金を持っている人たちがその資金を出

し合つて、この商売をやるうと云うことになり、一口いくらと言ふことを決め、失敗すれば出資金はゼロとなるが、無事に船が積み荷と共に返つてくれば、船と積み荷を売り払い、船員の賃金やかかった費用を差し引いた残りを出資した口数に比例して配分を行うと云うやり方を考え出し、この出資の口数が『株』であり、このような商売がベンチャー企業の原点になつたようです。

最も交易量の多かつた物産は、「胡椒」と言われ、最初はイタリアから始まり、次にポルトガル、スペイン、更にオランダ、イギリスへと、貿易が拡大していったと云われています。最も有名な会社はイギリスの東インド株式会社でした。

投資家にとつての最大の関心事は、云うまでもなく投資の回収と利益の平等な配分にあります。船の購入費（固定資産）、船員への支払い、物産の支払い、船長への報酬などの費用といくらで売れたかの総収入、販売に掛かつた諸費用などの計算を正確に行い、投資家への投資金額と利益の配分即ち株数に応じた配当金の配分をすることになります。

ここに企業会計の考え方が生まれ、その計算の手段として、簿記が発明されました。

簿記による会計システムは十五世紀イタリアのルカ・パチオリと言うお坊さんが『ズムマ』と云う本の中に纏めたのが始まりです。日本では、福沢諭吉が初めて簿記を紹介しました。

この様にして発生した『株』式は、出資金の保障と、配当金の分配にあると言ふ事と、

『株』式会社はあくまで出資者である『株』主のものである事を忘れてはなりません。

現在の株式市場は、

現在の株式市場をみると、毎日ダウ平均が上がった下がった、日経平均が上がった下が

つたと、国を挙げての大騒ぎ。株価で日本経済が良いの、悪いのと、論議されていますが、冷静にみた場合、何か狂っているように感じます。

本当の株価とは、企業の総資産と総負債のそれぞれの時価、売却時の価額と負債返済総額の差額から算定される一株あたりの純資産額（これを純資産法という）、或いは、配当金から適正な利回りで逆算された株式価値（これを収益還元価値という）に依るものである筈だが、毎日売った、買ったで騒いでいる様は、鉄火場の丁か半かというのと変わりなく、株式市場が成長企業の育成支援などという高邁な理念とは、ほど遠いものに見えてきます。

このような株式の取引の現状は、一七世紀オランダで起こったチューリップの球根一つが馬車一台の価値に相当したというバブル騒動の再来に思えます。

各々方、くれぐれも御用心を召されよ。これからは、**株価にふさわしい配当率の配当金**が得られるかどうか、もつとも信頼できる株価の評価基準になると考えています。何故ならその企業の利益剰余金と、当期利益の総額以上に配当することは、商法違反（タコ配）になるからです。

まだバブルは続いているというのが、私の率直な**カジノ株式市場**を見る目です。

そのバブルを許しているのは、企業会計原則に基づく会計処理と報告義務を果たしていないところにあると考えられます。

企業が簿外取引などといって、先物金融商品といったギャンブルを繰り返して、破綻に至つたアメリカのエンロン社事件は、そのいい例でこの事件を切っ掛けに、米国に蔓延していた会計疑惑が噴出し大手会計監査法人まで破綻したと言ふ事は、カジノ資本主義の象徴と言えましよう。

クラブ・同好会のページ

和気あいあい 撮影会を開催！



6/22 黒羽城址公園



9/21 大子町

《会員募集》

- * 写真の基礎から学びます。
- * 随時撮影会を開催します。

連絡先

世話人 只友将弘 TEL 0287-39-6502
携帯 09032487309

カメラクラブ



曼珠紗華の里

(那須町簗沢地区)

メビウスクラブのお便り

☆ 平成14年の行事報告

平成14年4月から12月まで下記の行事を実施いたしました。

- 4月： Word の基礎 (Ⅰ)
- 5月： Word の基礎 (Ⅱ)
- 6月：メビウス春夏商品 説明会
- 7月： Excel の基礎 (Ⅰ)
- 8月： Excel の基礎 (Ⅱ)
- 9月： Excel の基礎 (Ⅲ)
- 10月： 住所録の作成 (Ⅰ)
- 11月： 住所録の作成 (Ⅱ)
- 12月： メビウス秋冬商品 説明会

《これからの予定》

- 2月：デジカメ・スキャナーの活用 (Ⅰ)
- 3月：デジカメ・スキャナーの活用 (Ⅱ)



15型液晶搭載
PC-FS2-C3M

入会申込先：中村事務局長
電話：44-2373

ゴルフ同好会活動報告

ゴルフ同好会は、2ヶ月毎のコンペを基本に年5回の例会を実施していますが、今年度より更に隔月で研修会（練習ランド）を開催しています。

去る8月27日（火）第3回ゴルフ研修会を23名の参加を得て、名門「ジュンクラシックカントリークラブ」（過去、ジーン・サラゼンジュンクラシックゴルフトーナメント開催コース）で行いました。天候にも恵まれ、日頃の練習成果をグリーン一色のコースで腕試しする事が出来ました。次のコンペに自信を付けた人、頻りに首ばかり振った人、等さまざまでしたが有意義な1日を過ごすことが出来ました。ゴルフ同好会は初参加の皆様を歓迎お待ちしております。

（ゴルフ同好会幹事 生嶋良幸 記）Tel 43-1004



裏磐梯雄国沼湿原のニッコウキスゲ群落満開の木道にて



紅葉的那須茶臼岳を背景に姥ヶ平にて

（世話人 中村 茂 記）

Tel 44-0097

歩こう会活動状況

四季折々の風景と自然に親しみ、山歩きの魅力を楽しむ仲間になりませんか。今年も、日本百名山、その他多くの景勝地から、場所と時期を設定し案内致しますのでご期待下さい。

奥様方、友人、の参加も歓迎します。

昨年5月以降の活動内容は次の通りです。

■第15回 高原山 釈迦ヶ岳登山

H14年 5月19日（日）晴れ 参加者20名
地元の名山、高原山の山開き行事に参加。今回は塩原町側の明神岳経由で最高峰の釈迦ヶ岳山頂征服の感激を味わい楽しんだ。

■第16回 裏磐梯猫魔ヶ岳から雄国沼湿原

H14年 6月30日（日）晴天 参加者26名
梅雨の合間の晴天に恵まれ、猫魔ヶ岳を縦走し雄国沼湿原に着くと別世界、広大なニッコウキスゲ群落の満開で黄色一色のジュウタンを満喫する。

■第17回 出羽の月山登山

H14年 8月 4日（日）曇り 参加者23名
山形県の日本百名山「月山」を縦走し、高山植物の宝庫とも言われる通り数多くの種類の花が咲き乱れており、登山者の心を和ませてくれた。

■第18回 那須岳の紅葉狩りと三斗小屋

H14年10月12日（土）快晴 参加者25名
穏やかな快晴の小春日和、噴煙を上げる茶臼岳の雄姿と紅葉が映える素晴らしい景観を眺めて、誰もが満足感で一杯であった。

新入会員の紹介

- ① 会員番号
- ② 氏名
- ③ 生年月日
- ④ 住所
- ⑤ 電話番号

《メッセージ》



- ① 2284
- ② 山内 守
- ③ 昭和17.3.7
- ④ 〒329-2134
栃木県矢板市
成田1099-126
- ⑤ 0287-43-3819

四〇数年の勤めを終え、〇二年三月に社友会へ入会させて頂きました。会社生活の半分分以上を過ごした矢板の地を永住の場所と決めました。会員の皆様、今後末永くよろしくおめ願います。



- ① 2280
- ② 栗田 雄二
- ③ 昭和17.4.10
- ④ 〒329-2162
栃木県矢板市
末広町3-39
- ⑤ 0287-43-9339

二〇〇二年四月に定年退職し早数ヶ月が立ち家庭生活に慣れた今日この頃です。立神に老いが来ない様健康に留意していきと思ひます。今後共宜しくお願ひ致します。



- ① 2281
- ② 成瀬 順夫
- ③ 昭和17.4.25
- ④ 〒329-2142
栃木県矢板市
木幡696-2
- ⑤ 0287-43-7040

皆様のお陰で定年退職する事が出来ました。又この度、社友会に入会させて頂きました。近況ですが身辺整理の他ボケ防止に楽器を始めました。今後ともご指導の程よろしくお願ひします。



- ① 2309
- ② 登地 章
- ③ 昭和17.5.20
- ④ 〒320-0011
栃木県宇都宮市
富士見ヶ丘2-22
-21
- ⑤ 028-624-8633

二〇〇二年五月に東日本相談室を最後の職場として退職しました。現在は趣味の世界（阪神タイガース・テニス・旅行・第九の合唱等）に没頭している状況です。更に今後は未知の分野の知識を得るよう積極的に取り組みたいと思う心境です、よろしくお願ひします。



- ① 2310
- ② 細川 美生
- ③ 昭和17.5.29
- ④ 〒329-2504
栃木県矢板市
泉400
- ⑤ 0287-43-8225

退職後、運転手として握っていたハンドルを孫のベビーカーに持ち替え、慌ただしくも穏やかな日々を過ごしております。これから、積極的な行事などに参加したいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いします。



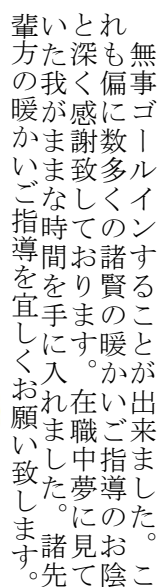
- ① 2316
- ② 梶原 祥宏
- ③ 昭和17.6.4
- ④ 〒329-2511
栃木県矢板市
山田134-5
- ⑤ 0287-43-7070

社友会ではお世話になります。定年前の最後の職場は栃木研修所です。定年前の最後の職として、これから昔やっていた釣りを始めようと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。

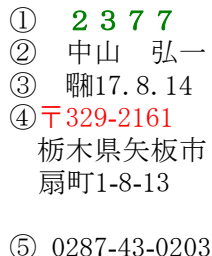


- ① 2 3 5 3
- ② 赤松 則之
- ③ 嘸和17. 7. 18
- ④ 〒329-2142
栃木県矢板市
木幡1209-1
- ⑤ 0287-43-6478

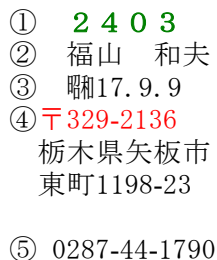
① 2 3 3 4
② 初鹿 謙治
③ 昭和 17. 7. 4
④ 〒320-0064
栃木県宇都宮市
西の宮1-11-3
⑤ 028-648-4106



マレーシアから帰国後四ヶ月の定年退職で久しぶりの矢板に未だに慣れず、早く「住めば都」と言える様に、日夜努めているところです。今後共社友会先輩諸氏のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

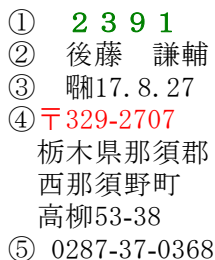


とうとう自分の番がやって来た感無量です。八月二日無事定年退職致しました。(大阪で十四年、栃木で二十九年四十三年間) これからの人生は、好きな事を行こうと思っております。(趣味) テニス・釣り・スキー・庭いじり・その他、宜しくお願い致します。



平成十四年九月十日より皆様の仲間入りをさせて頂きました。今は環境の変化に戸惑って居りますがこれからの人生有意義なものにしたいと思つて居ります。よろしくお願い致します。

最後の仕事を終えて、八月三十日に我が家へ戻りました。退職して三週間、長期單身赴任後の栃木は新天地の如し。総ては一からスタートです。支部会員に受け入れて頂き人生の楽しみ方をご指導の程宜しくお願い申し上げます。



す。友会へ入会することになりました。今後は、先輩方々のご支援により無事定年を迎え、深くお礼申し上げます。又、今後とも変わらぬご指導の程宜敷くお願い申し上げます。



- ① 2440
② 安藤 八郎
③ 昭和17.10.17
④ 〒329-2713
栃木県那須郡西那須野町緑13-109
⑤ 0287-36-8668

を定のの三
頂か年面先
いら退々輩
ての職等、
充日等は
実々は、
した社思
た友は出
時に会、
にの思
致し、
しま先
ま輩、
す方事
。に
に、
し社
御た、
黨。上
陶こは
勢



- ① 2419
② 軽部 勝夫
③ 昭和17.10.2
④ 〒329-2338
栃木県塩谷郡塩谷町大字
風見山田306
⑤ 0287-46-0261



喜寿・古希 お目出度う御座います

会員番号	御祝い	お名前	御祝いの日
325	喜寿	藤間 真二	平成14年 5月27日
327	喜寿	乙川十四雄	平成14年 9月20日
328	喜寿	益子 充	平成14年12月10日
1113	古希	糸川 昇平	平成14年 8月 8日
496	古希	青木 竹司	平成14年11月 6日
499	古希	岡本 功	平成14年11月11日

編集後記

▼当栃木支部会報十一号は、年末に完成の計画でスタートし、編集作業の中心的役割を担って頂いている永谷さんの準備も良かったので順調にスタートしていたのですが、突然永谷さんが交通事故に遭遇され、編集作業がストップし、一時はパニック状態に陥りました。

☆そのため編集担当の割り振りの再調整、メビウスクラブの会員から、新たに編集委員に参加して頂くなどして次善の策をたて、悪戦苦闘しながら編集の続行をして、何とか一月上旬に完成させ、会員みなさまにお届けすることが出来ました。

◎この過程で、リハビリ中であるにも拘わらず永谷さんにも、電話などで編集作業のサポートを頂き、編集委員一同、改めてお礼を申し上げる次第です。

★各編集員も、担当ページのレイアウト、画像処理など、難しいことは、永谷さんに丸投げしていた作業も自ら手を染めて、何とか完成にこぎ着けました。

●この経験で編集委員のPC技術に一段と磨きが掛かったように思います。『艱難、汝を玉にする』デスネ。

(編集員一同)